

とつがめずらしく、おもしろくてたまりません。前もって想像そうぞうしてきたこと  
とじっさいに見たり聞いたりすることは、だいぶちがっていました。それで  
ふどころに入れておいた紙に、いくつかの俳句を書いてみました。

(俳句)旅の夜めぎめてみると、静かに春の水の流れる音がきこえてきます。

ああ、わたしが、長い間、あこがれていた江戸への旅、生まれては  
じめてみた富士山は、まるでお父さんやお母さんにあつたように、  
あたたかい心にさせてくれる山だなあ。

この富士山の俳句には季題がぬけていますが、季節の感じはよくでていると思  
います。

野山もかすむ春雨はるさめの

晴れてなごりの

「水かさに車はげしや藤の花」

しぶきにぬれて日に映はゆる